

平成21年度一般会計当初予算

【安心】豊かな天然自然・磨き輝き戦略

(単位：千円)

事業名	平成21年度 当初予算額 〔平成20年度 当初予算額〕	当初予算の概要	所管課
① 新「エコマネーめじろん」 CO2削減推進事業	28,979 (0)	エコポイントを付与する仕組(新「エコマネーめじろん」)を管理する運営団体を設置し、県民の環境保全活動やCO2削減行動の促進を図る。	生活環境企画課
② 低炭素社会づくり県民総 参加推進事業	3,436 (0)	自発的なCO2削減に向けて、NPO等から小中学生への環境教育などのモデル事業を募集し、その実施経費に対し助成する。	生活環境企画課
③ レジ袋削減推進事業	2,283 (0)	ごみの減量化を図るため、県内主要スーパーがレジ袋有料化の取組を実施することを新聞広告や街頭PR等を通じ県民に周知する。 ・実施時期 平成21年6月～	ごみゼロおおい推進室
④ おおいた景観創生事業	9,437 (0)	名勝耶馬溪の良好な景観を再生するため、中津市が行う雑木伐採等に対し森林環境税を活用し助成する。(補助率 3/4) 埋もれた地域資源である街なみ景観等を地域住民が適正に評価できる体制と機運を醸成するためのワークショップを開催する。(宇佐市)	景観自然室
⑤ 自然公園エコツアー 推進事業	1,134 (1,418)	自然公園の保護と観光・地域資源としての活用を両立させるワイズユースを普及するため、自然観察ツアーなどに必要な自然保護のマナーや歴史文化の知識などを備えたエコツアーガイドの育成等を行う。	景観自然室
⑥ 森林吸収源対策事業	2,386,681 (2,245,967)	CO2削減対策として本県には24年度までに8万4千haの間伐等の森林吸収源対策が求められているため、「大分県森林吸収量確保推進計画」に基づき森林整備を行う。 ・(公)造林事業 ・(公)治山事業 ・荒廃人工林緊急整備事業(森林環境税活用事業) ・循環型施業の森林づくり誘導事業	林務管理課 } 21年度整備面積 1万4千ha
⑦ 森林環境保全推進事業 (森林環境税活用事業)	312,000 (307,000)	森林の有する公益的機能の保全や森林を守り育てていく県民意識の醸成を目的として徴収する「森林環境税」を基金に積み立て、税導入の趣旨に沿った各種事業を実施する。	森との共生推進室
⑧ 森と海をつなぐ環境保全 推進事業 (森林環境税活用事業)	7,143 (7,000)	NPOや自治会等が海岸に漂着した流木等を処理する活動に対し助成する。 台風等により上流域から漁港や港湾などに流入し、滞留する流木等を迅速に処理するため、県漁業協同組合に対し助成する。(13箇所)	廃棄物対策課 漁業管理課
⑨ おおいた里海・水環境保 全事業	7,017 (0)	水環境に対する県民意識を高めるため、NPOが行う里海環境学習会の開催経費を助成するほか、笹干見(ささひび)漁による干潟環境の改善の仕組を解明するため、底質調査を行う。 水辺の生物等の生息状況の報告を広く県民から受け、確認を行うことにより、県民参加型で水質環境基準の指定を行う。	環境保全課
⑩ 森林体験学習促進事業 (森林環境税活用事業)	1,248 (1,860)	児童生徒の森林に対する興味や関心を高め、森林環境の保全に対する意識の醸成を図るため、外部人材を活用した小・中学校における森林観察などの体験学習や森林環境保全活動を実施する。	義務教育課

平成21年度一般会計当初予算

【安心】豊かな天然自然・磨き輝き戦略

(単位：千円)

事業名	平成21年度 当初予算額 〔平成20年度 当初予算額〕	当初予算の概要	所管課
11 森林づくりボランティア 推進事業 (森林環境税活用事業)	26,394 (24,578)	NPO等の森林ボランティア活動を推進するため、県内各地域における森林づくり活動を支援する。 ・地域とNPO等が協働して行う森林づくりに対し助成する。 ・企業が行う森林づくりのCO2吸収量を評価・認証	森との共生推進室
12 鳥獣被害総合対策事業	79,191 (73,893)	イノシシ、シカ、サル等の野生鳥獣による農林作物被害の軽減を図るため、金網柵やネット柵の設置等、集落全体で行う被害対策活動を支援するなど予防・捕獲対策を推進する。 【特】今後5年間で被害額の半減を目標にイノシシ、シカの早急な頭数削減に向けて捕獲対策を強化する。 ・捕獲報償頭数の拡大 イノシシ3,800頭→6,000頭 シカ 2,700頭→6,500頭 ・捕獲報償単価の増額(対象：3年(18~20年)平均を上回る捕獲分) シカ 8,000円→10,000円	森との共生推進室
13 森林シカ被害防止対策事業 (森林環境税活用事業)	3,554 (3,050)	シカによる森林被害の軽減を図るため、使用済漁網を活用した防護柵を設置する森林所有者に対し助成する。	森との共生推進室
14 (公)造林事業 (うちシカ被害対策)	90,176 (36,037)	シカによる森林被害の軽減を図るため、(公)造林事業を活用してシカ防護柵の設置を行う森林所有者に対し助成する。 ・設置延長の拡大 60.0km→150.0km	森林整備室
15 (公)農村振興総合整備 事業 (うちイノシシ被害対策)	129,702 (64,847)	イノシシによる森林被害の軽減を図るため、(公)農村振興総合整備事業を活用してイノシシ防護柵の設置を行う森林所有者に対し助成する。 ・設置延長の拡大 10.7km→19.5km	農村基盤整備課
16 産業廃棄物適正処理推進 事業 (産業廃棄物税活用事業)	387,000 (269,000)	産業廃棄物税について、適正管理を行うとともに、用途の明確化を図るため、産業廃棄物税基金への積立てを行う。	廃棄物対策課
17 廃棄物不法投棄防止対策 事業 (産業廃棄物税活用事業)	146,134 (136,586)	廃棄物の適正処理を推進するため、不法投棄廃棄物の撤去を行うほか不法投棄防止のための監視カメラの増設、フェンス設置等による重点監視対策を実施する。 不法投棄防止対策等を行う市町村に対し助成する。(補助率 1/2) 【新】産業廃棄物管理票(マニフェスト)の電子化を促進する。	廃棄物対策課
18 産業廃棄物処理施設等監 視指導事業 (産業廃棄物税活用事業)	70,375 (63,029)	産業廃棄物の適正処理を進めるため、処理施設に対する監視・指導を行う。 【新】産業廃棄物処分場内への監視カメラの設置や監視員への水質分析装置・ガス測定器など検査機器の配備を行う。	廃棄物対策課
19 産業廃棄物処理施設周辺 環境対策事業 (産業廃棄物税活用事業)	62,750 (47,750)	産業廃棄物処理施設の周辺住民の不安解消を図るため、設置者、住民及び行政で構成する協議会を設置する。(11箇所) 協議会における合意等に基づき、市町村又は施設設置者が実施する処理施設周辺の環境整備や周辺住民の利便に供する施設整備等に対し助成する。(9箇所)	廃棄物対策課
20 県外産業廃棄物対策事業	103,629 (101,292)	県外産業廃棄物の適正な処理を推進するため、産業廃棄物適正化条例に基づく協定を締結した県外排出事業者から納付される環境保全協力金を基金に積み立てる。 基金を活用し、県外排出事業者への立入調査、県外産業廃棄物受入施設の水质検査等を実施する。	廃棄物対策課

平成21年度一般会計当初予算

【安心】豊かな天然自然・磨き輝き戦略

(単位：千円)

事業名	平成21年度 当初予算額 〔平成20年度 当初予算額〕	当初予算の概要	所管課
21 ① 光化学オキシダント等緊急対策事業	27,924 (0)	高濃度光化学オキシダントの観測体制を強化するため、大気常時監視測定局を設置する。(豊肥保健所) 九州各県と連携し大陸からの越境汚染についての観測調査を行うとともに、調査結果をホームページで公開する。	環境保全課
22 離島漁業再生支援交付金事業	27,820 (26,684)	漁村の持つ多面的機能を維持するため、集落機能の維持に不利な条件を抱えた離島における漁業再生活動を支援する。 (姫島、津久見市地無垢島、佐伯市大入島)	農山漁村・担い手支援課
23 きれいな川づくり推進事業	6,229 (3,627)	河川への愛着を深め、良好な河川環境の保全を図るため、河川敷の草刈りに加え、ゴミ拾いや花壇作りなどの美化活動を行う地域の団体を育成・支援する。 ・実施箇所 大野川水系、大分川水系、丹生川水系 ・内容 草刈りの労力を軽減するため歩行型草刈り機を貸与 小学生等を対象とした水辺の勉強会を開催	河川課
24 道路愛護ボランティアサポート事業	16,000 (15,721)	道路愛護精神を育み、良好な道路環境の保全を図るため、草刈りなどのボランティア活動を継続的に行う地域の団体を育成・支援する。 県管理道路沿いのプランター設置や花植え等の美化活動を支援する。	道路整備促進室